

榎えのき

令和8年5月11日発行 校長 久保田 勲

子どもの『はてな』が学びを拓く～好奇心は探究のスタート～

子どもたちは日々、たくさんの「はてな」と出会っています。

「どうして空の色は変わるのだろう」「なぜ虫はこんな動きをするのだろう」——そんな何気ない疑問には、学びの芽が宿っています。

私は、教育で大切にしたいことの一つは、子どもたちの「知りたい」「もっと調べたい」という気持ちを育てることだと考えています。学びは教えられるだけで深まるものではなく、自分で問いをもち、自分で考えようとするとき、本当の学びになります。



夢中になって調べる子ども、納得いくまで試す子ども、友達と問いを広げる子ども。その始まりには、いつも小さな「はてな」があります。最近、「探究」という言葉を耳にしますが、それは特別なことではなく、**子どもが本来もつ好奇心を育てること**なのだと思います。そして、その芽は教室だけで育つものではありません。家族との旅先で出会う自然や文化、地域の歴史、博物

館での発見、日々の暮らしの中の気付き——そうした一つ一つが「どうして？」を生みます。食卓や散歩、買い物の中にも、学びの種はたくさんあります。そのとき**大人が「おもしろいところに気づいたね」「それは不思議だね」と問いを一緒に面白がる**ことが、**子どもの探究心を育てます。**

子どもたちには、正解を覚える力だけでなく、自ら問いをもち、考え続ける力を育ててほしいと願っています。本校では、子どもたちの好奇心をくすぐり、「知りたい」が広がる学びを大切にしていきます。

家庭でも、ぜひわが子の「どうして？」に耳を傾け、その小さな問いを大切にいただければ幸いです。子どもの「はてな」は、未来につながる学びの入口です。学校と家庭で、その芽をともに育てていければと思います。

学校 HP の紹介 日々の教育活動や学校情報を発信していきます。学校を知る手段としチェックしてください。



学校 HP